

| | | | | | |
|--------|---|--|--|--|--|
| 学校教育目標 | 未来を創造する 生きてはたらく【知】 ○「わかる」「できる」喜び ○主体的・意欲的に学ぶ習慣 ○考える力、伝え合う力、解決する力 豊かな心【徳】 ○自尊感情 ○人を思いやる優しさ ○生命を大事にする感性 健やかな体【体】 ○健康な体づくり ○運動に親しみ、体力向上 ○安全への配慮 公共心と社会参画【公】 ○つながりを生むコミュニケーション力 ○自分の役割や夢に気づき、社会に貢献できる力 未来を開く志【開】 ○主体的に力を合わせて課題を達成する力 ○伝統・文化を尊重し、地域とつながる力 ○グローバルな視野をもち、国際社会で活躍できる力 ○志をもって、社会の実現に向けて行動する力 | | | | |
| | 学校概要 創立 58 周年 学校長 園田 達哉 副校長 大庭 一修 2 学期制 一般学級：15 個別支援学級：3 児童生徒数： 585 人 主な関係校： 永野小学校・永谷小学校・芹が谷南小学校 | | | | |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 | 上永谷中ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|-------------------------------------|--------------------------|--|
| <言語能力> <コミュニケーション能力> <課題解決能力> | 永野小学校 永谷小学校 上永谷中学校 | 自尊感情を育み、主体的に学び、社会につながる児童・生徒の育成 ----- ○自己肯定感・自己有用感を授業や学級活動等の教育活動の中で育てていく。 ○いじめ根絶に向け、生徒の集団正義を育てていく。 ○行事や生徒活動の中で成功体験を積み上げ、自信を育てていく。 ○地域ボランティアに積極的に参加できる環境をつくり、地域に貢献する姿勢を育てる。 |

| |
|---|
| 中期取組目標 ○豊かな人間関係の中で自尊感情を育み、他者に貢献できる力を育成します。 ・ステップ1 自分の感じたことを表現することを大切に、伝え合う活動の充実。(伝える) ・ステップ2 互いの思いを認め合い、共感できる集団の育成。(共感する) ・ステップ3 互いの違いを理解し、集団としての向上を目指します。(創造する) ○チーム力の向上により、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりに取り組みます。 地域とともに歩む学校として、生徒・保護者・地域の願いに寄り添い、持続可能な連携を実現していきます。 |
|---|

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|---|---|
| 知 学習指導 担当 学習指導部 | ○学力向上を図るため、指導と評価について研修・授業研究を行い、生徒の主体的な学習を支援する。 ○デジタル教科書やデジタルドリルなど、ICT機器の使用し、効果的な活用を行う。 ○生徒が学習習慣を確立できるよう、組織的に支援する。 |
| 徳 人権教育 担当 道徳係・人権教育担当 | ○共感的に理解する力、わかり合うためのコミュニケーション力、人間関係を調整する力を培うために、子どもの社会的スキル横浜プログラムの活用を行う。 ○違いや多様な考えを認め合い、安心して自分を表現できる授業環境を構築する。 |
| 体 健康教育 担当 保健安全指導部・保健体育科 | ○よりよい生活習慣の獲得を目指し、心身の健康への関心を高め、仲間と共有し実践できるようにする。 ○生涯を健康的に過ごすため、運動との関わり方を考え、行動できるように授業の充実を図り、普段の生活から意識していけるようにする。 |
| 公開 自分づくり教育 担当 特活指導部・総合係 | ○生徒一人ひとりが計画、実行、反省、修正のサイクルを大切にできるように、様々な場面で十分な時間を与え考えさせる。 ○「ミライ」の目指すべきところを明確にし、教職員の理解を深め、生徒一人ひとりに目的意識を持たせる。 |
| 特別支援教育 担当 特別支援教育部 | ○一人ひとりの困難さを理由や背景を含めて理解し、個に応じた支援を組織的に行うために個別の指導計画を活用する。 ○誰もが安心できる学級を目指し、すべての子どもたちが参加でき、授業内容が理解できる授業指導方法の工夫・改善を行う。 ○特別支援教室を利用することで、不登校生徒に対する指導、支援を行う。 |
| いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会 | ○いじめの未然防止に向けて、学校教育活動全体を通して、生徒の人格形成につとめる。 ○初期・早期対応を組織的に行う。また基本対応後、見守りが強化できるよう教職員間の連携を行う。 ○いじめ防止対策委員会を中心とした組織的な対応をとり、関係者への支援と、場合によっては関係機関との連携を行う。 |
| 地域学校協働活動 担当 生徒指導部・特別支援教育部 | ○地域との連携を通じて、自分たちが暮らす地域の良さ、帰属意識を再認識させ、積極的に貢献しようとする心を育む。 ○放課後学びの時間を生徒に周知徹底し、生徒たちの積極的な参加を促す。 ○地区懇談会を開催し、地域についての理解を深め、地域との連携を進めていく。 |
| 人材育成・組織運営(働き方) 担当 学校経営会議 | ○メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心としながら研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。 ○校内研修や研究授業を実施し、授業改善に努め、学習評価を見直す。 ○経営会議を通じて、全教職員の学校運営への参画を実現する。 |
| 担当 | |
| 担当 | |